



インコ誕生秘話…いま明かされる「セーラー服の秘密」

「どうしてインコが裁判員制度に反対なの?」とよく聞かれる。もうみんな忘れていたんだ。今年5月21日にインコが発表した決意表明「鳥声人語」を改めて掲載する。

08年5月23日、インコのお山は大騒ぎとなった。

稀代の悪法「裁判員法」のPRにインコが一役買うというニュースが入ってきたからだ。その直後、「鳩がインコに化けていた」ということが判明したものの、インコたちの怒りは収まらなかった。

「今すぐ『裁判員制度はいらない! 大運動』に参加しよう」という声がインコのお山に満ちあふれ、インコたちは直ちに「裁判員いらなインコ」の派遣を決定したが、派遣期間は本年5月21日、本日までであった。

これは「国民の8割が反対している」「制度実施が近づくにつれ反対の声が高まっている」という状況の中で、本当に国民の声を反映するならば、制度は廃止するしかないと考えたからだった。

しかし、「市民の声を反映する」が欺瞞であることを証明するように、裁判員制度はスタートした。

これに対し、インコたちの間から「派遣期間の見直しなど鳩首協議するまでもない。最後まで闘うことを直ちに決しよう」という声があがった。当然のことである。

「裁判員いらなインコ」は、インコの名誉をかけて「裁判員制度はいらない! 大運動」とともに制度廃止まで頑張ることをここに誓う。

いま見ても立派な決意表明やなあ。

さて、インコが日本へ来ることになって、「大運動」事務局と連絡をとった。

事務局長「せっかくインコ君が来てくれるというので、カンパを集めて服を用意したよ」

インコ「ありがとうございます…セーラー服ですって?」

「それはまあ…ごによごによ…」

「事務局長の趣味?」(・◇・)?

「バカ言っちゃいけない! バーゲンで一番…あついやいや」

「一番安かったからじゃないでしょうね?」

「いや、ほら、インコは制度廃止の水先案内人ということ…」

「そんな、取って付けたような言い訳!」

「インコの水兵さんという歌もあるじゃん」

「ないです。カモメさんでしょ」(`◇´)

「まっまっ、そのうちいい服を買ってあげるから」

それから1年。今でも着たきりインコ!



警視庁作成とかのステッカー↓をもらいました。インコのお山に持って帰ったら、みんなに大受け! どうして人間は鳥かごに入りたがるかねえ?! インコのお山の本部が作ったステッカーのお披露目! ↓

